

# 令和4年度（2022年度）行政評価シート

令和4年7月26日

評価者	教育文化財部長 佐々木 聡
-----	---------------

## ○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野	2-(1) 歴史環境	施策の方針	2-(1)-①文化財の保護
目標とするまちの姿	史跡などの文化財の保存が図られるとともに、市民等が触れることのできる形で活用や情報発信が積極的に行われています。			
主な取組	<p>(1)文化財の保護及び継承体制の充実 有形・無形文化財、民俗文化財、史跡名勝天然記念物等の貴重な文化財を、後世に確実に引き継いでいくため、調査・研究の成果に基づき指定・登録を進めるとともに、適切な保存修理、整備等を実施します。また、出土品を含む貴重な文化財を適切に保存・活用するため、専門的な人材の確保や保管スペースの環境整備を進めます。</p> <p>(2)史跡の公有地化、整備・管理 貴重な史跡を保護していくため、公有地化を進めるとともに、公開活用に向けた整備及び管理を進めます。</p> <p>(3)情報発信の充実 市民や来訪者が文化財について理解が深められるよう、教育・観光等の関連施策とも連携して積極的な公開及び情報発信を行うとともに、鎌倉国宝館や鎌倉歴史文化交流館を核として、社寺や史跡など市内に所在する豊富な文化財や歴史的遺産をつなぎ、鎌倉のまち全体を博物館とするエコミュージアムの仕組みを構築し推進します。</p>			

## 1 成果指標

成果指標①	公有地化対象史跡の公有地の割合					出典	所管課調べ		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
令和元年度	%	目標値	59.1	59.2	59.2	59.2	59.3	59.3	
59.1		実績値	59.1	59.2					
		達成率	100.0%	100.0%					
成果指標②	指定文化財の数					出典	所管課調べ		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
令和元年度	件	目標値	611	614	617	620	623	626	
610		実績値	609	607					
		達成率	99.7%	98.9%					
成果指標③	鎌倉国宝館来館者の満足度					出典	所管課調べ		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
令和2年度	%	目標値	90.0	90.0	91.0	92.0	93.0	94.0	各展覧会ごとに実施するアンケート結果の集計 令和2年度アンケート結果を元に初期値、目標値を設定
89.0		実績値	89.0	91.3					
		達成率	99.0%	101.4%					

成果指標④ 鎌倉歴史文化交流館来館者の満足度						出典	所管課調べ		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
令和2年度	%	目標値	90.0	90.0	91.0	92.0	93.0	94.0	入館者に実施している任意のアンケート結果の集計  令和2年度アンケート結果を元に初期値、目標値を設定
89.0		実績値	89.0	90.6					
		達成率	99.0%	100.7%					

## 2 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	331,978	310,541				
人件費	211,086	212,705				
総事業費	543,064	523,246				

## 3 担当部評価

### (1)「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

#### 教育文化財部

成果指標に掲げる実績値は、国及び県指定文化財が市外に転出する例があったことから減じているが、鎌倉市指定文化財の数は令和元年度の325件から現在328件に増えており、指定による文化財の保護は着実に進んでいる。また、計画的に史跡指定地の公有化も行っている。このように、鎌倉に所在する文化財や歴史的遺産を保護し、未来へも確実に継承できていると考える。

鎌倉国宝館及び鎌倉歴史文化交流館では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら特別展や企画展等を開催し、展示解説を行ったことで、博物館来館者から目標以上の評価を得ることができた。

鎌倉市にふさわしい博物館事業は、基本計画等策定に向けた先行事例や他事例等の基礎的な調査研究を行うとともに、基本計画等策定委員会を設置し、計画づくりに着手した。

以上のような取組状況を踏まえ、目標とするまちの姿としている「史跡などの文化財の保存が図られるとともに、市民等が触れることのできる形で活用や情報発信が積極的に行われている」について着実に進められていると考える。

### (2)今後の方向性

#### 教育文化財部

引き続き、所有者等と協議・調整等を行いながら、史跡指定地の公有地化を進め、適切な維持管理を行うとともに、公開活用に向けた整備を進めていく。

未指定文化財及び埋蔵文化財の調査・研究を着実にを行い、指定を進めていくとともに、文化財の所有者である社寺等と連携して現状把握に努め、緊急度に応じた保存修理を進めていく。

出土品を含む貴重な文化財を適切に保存・活用するため、環境整備を進める。

博物館来館者のさらなる満足度の向上を目指して、今後もSNSなどを活用した情報発信を積極的に行うとともに、新しい展示手法を取入れるなど工夫を施し、観覧者のニーズに応じたさらに魅力的な展示会を企画し開催していく。

鎌倉市にふさわしい博物館事業については、コンパクトな市域に多くの歴史的遺産が展開する本市の特徴を十分に活かすエコミュージアムの構築に向けて、市民参加による運営等を盛り込んだ基本計画等を策定する。

**(3) 施策の方針にひもづく事務事業の評価結果**

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
重	教育-40	史跡環境整備事業		120,742	27,313	148,055	改善・変更	S	改善・変更
	教育-41	文化財調査・整備事業		55,814	84,044	139,858	現状維持	A	現状維持
	教育-42	文化財保存・修理助成事業		37,252	19,215	56,467	現状維持	A	現状維持
	教育-43	文化財公開活用事業		436	15,372	15,808	改善・変更	A	改善・変更
重	教育-46	鎌倉市にふさわしい博物館事業		72	4,552	4,624	改善・変更	A	改善・変更
	教育-49	鎌倉国宝館管理運営事業		49,523	35,548	85,071	拡充	A	拡充
	教育-50	鎌倉歴史文化交流館管理運営事業		46,702	26,661	73,363	改善・変更	A	改善・変更

**(4) 貢献度に関する分析**

**教育文化財部**

史跡環境整備事業は、公開史跡数は増加していないものの、安全対策などは順次進めており、より多く、かつ適切な史跡の公開活用に向けて事業が進んでいる。

鎌倉市にふさわしい博物館事業は、市域全体を博物館としてとらえるエコミュージアムの考え方を軸に、地域に点在する歴史的遺産、文化的遺産または自然環境といった地域資源をそれぞれ有機的に繋がりを持たせ、鎌倉の歴史的遺産などに対する市民等の理解を深めるとともに、市民等の歴史学習の環境をつくり、その遺産を未来へ継承する意識の醸成を図ることに貢献している。

鎌倉国宝館管理運営事業は、鎌倉ゆかりの国宝5件43点、重文75件872点をはじめ、館蔵品・寄託品併せて1,000件、5,000点を超える収蔵品を保存・継承、調査・研究し、またその活用を通じて、市民等が歴史・文化に親しみ、日本文化の発展に寄与している。

鎌倉歴史文化交流館管理運営事業は、鎌倉の歴史及び文化に関する展示、教育普及事業の実施や交流の場の提供により市民の交流を促進を目指しており、鎌倉の歴史的遺産や文化的遺産に対する市民等の理解を深めるとともに、市民等の歴史学習の環境をつくり、その遺産を未来へ継承する意識の醸成に貢献している。